

○商工観光課長（大嶋利幸君）

おっしゃるとおり負担金として、日本旅行社に800万円をお支払いしとるところであります。

ただ、特別交付税措置もございますので、まるきり全てというわけではございませんが、いずれにいたしましてもおっしゃるとおり、この貴重な人材を活用して、糸魚川市の観光に寄与するように努めていただきたいと思いますし、私どももそうしていくように努めていきたいというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

東野議員。

○2番（東野恭行君）

私も観光協会に所属させていただいておまして、DMO、組織の中、入っているんですけども、なかなか成果が見えてこない、具体的に何していいかもわからないという状況がしばらく続いておりますので、ぜひともそういった着地型観光商品の開発で、先が見えてくるんじゃないかなと思っております。飯山市の事例でも300つくって採用されるの3つぐらい、そんな確率で彼ら動いておりますので、その勢いをもって糸魚川市も頑張っていただきたいなというふうに要望させていただきまして、質問を終わりたいと思います。

○議長（中村 実君）

以上で、東野議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

関連質問なしと認めます。

次に、吉川慶一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。〔4番 吉川慶一君登壇〕

○4番（吉川慶一君）

清政クラブの吉川慶一です。

1回目の質問をさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

1、林業振興策について。

令和元年から新たな森林経営管理法が施行されます。本法の趣旨については、大きく二つ、森林の持つ多目的な機能を発揮する適切な森林整備及び林業の成長産業化の推進と理解しています。これにより創設された森林経営管理制度は、私有人工林の荒廃防止を目的とするものです。森林管理の責任が所有者にあることを明確にし、管理のできない森林は市町村があずかり、再度「意欲と能力のある林業経営者」へ再委託することで、私有林を持続的に管理するものであります。

また、これに伴い財源として森林環境譲与税が国から譲与されます。試算では、当市への譲与額は1,500万円との回答があります。令和6年から、個人住民税の納税者一人当たりの年間1,000円が、全国均一で徴収されると聞いております。

管理の行き届かない森林の整備を国民全体で支える制度である以上、市民の期待は高いものと考えています。

さらに、当市面積の約9割は森林が占めていることから、この制度を機会に林業復興や森林整備を推進するべきと考えます。そこで、森林や林業に関する当市の課題と現在の動きについて伺います。

- (1) 市と関係事業者や関係組合とどのような話し合いがなされているか伺います。
- (2) 市の発注する公共建物工事において、設計書中の木材使用の規定の取り扱いがどのように変わってくるのか伺います。
- (3) 市内の人工林が既に伐採期を迎えております。地域の杉材の活用で地域経済が好循環となるか伺います。

2、自主財源の確保と効率的な財政運営について。

地方自治体の財政運営が厳しい状況については、報道等がなされておりますが、新潟県においても「県財政緊急事態宣言」などと、平成の大合併により、財政の効率化が叫ばれて取り組まれましたが、ここに来て、厳しい財政運営があらこちらで聞かれます。糸魚川市におきましては、「糸魚川市長期財政見通し」が昨年6月に公表され、令和元年度から令和7年度までの収支見込みがシミュレーションされております。次期ごみ処理施設、次期一般廃棄物最終処分場や健康づくりセンタープール等の大型事業に着手され、今後その償還金が財政運営に大きく負担となってきます。普通交付税の「合併特例債の終了」、人口減少、超高齢化を迎え「各福祉関係費の増大」、人口減少による「一般財源の減少」等による問題・課題が山積しています。かかる経費の削減と自主財源の確保に向けた取り組みについて、どのように考えているのか伺います。

- (1) 平成の大合併により、一市二町がそれぞれ整備した公共施設、ある部分重複する機能や規模の適正化等の課題を持ちながらの合併となりました。糸魚川市の公共施設床面積は全国平均の約2倍と聞きます。糸魚川市の公共施設等総合管理指針による個別計画の進捗状況は、どの程度進んでいるか伺います。
- (2) 個別計画は、公共施設の整理統合を具体的に取り組むものであると思いますが、机上の計画ではなく、地区に出向き、市民と論議し、つくり上げなければなりません。施設の必要性、サービスアップの裏には、市民負担が生じることもありますが、説明責任に努めなければなりません。市民との対話による計画策定について、どのように取り組まれているか伺います。

3、地元の子供が地元企業に就職できる環境づくりについて。

令和元年5月1日糸魚川市における総人口は、4万2,601人で、総世帯数では、1万7,420世帯であります。10年前と比較して、人口は13.7%減少。世帯数では2.2%減少となっております。人口移動調査によると、平成30年度の出生数は、215人で10年前と比べ117人減少しています。人口減少と叫ばれながら「妙薬」がないのが現状であります。

市内3月の有効求人倍率は1.99倍と全国平均を0.34ポイント上回っておりますが、依然として求職者とのミスマッチが続いております。有効求人倍率の上昇は今後も続くと思われませんが、求職者は横ばいでなかろうかと思われまます。地元の子供が一人でも多く地元就職できるか、来春に向けてどのように取り組まれるのか伺います。

(1) 米田市長のマニフェストに「日本一の子どもを育てる」として、18歳までの一貫教育に勢力的に取り組まれ、キャリア教育にも市内企業との連携の中で取り組まれておられますことに感謝します。

机上だけの職業紹介だけではなく、「百聞は一見にしかず」と言われますように、職場実習を通じた教育が大変貴重な体験教育であると考えます。

保護者の方々に、市内の企業数や業種、仕事内容等について知っていただくために、どのような仕事をしているか等、どこまで知っていただくために、どのような情報を発信していますか。

教育現場での困りごと、企業側の困りごとをどのようにお聞きし、新たな展開をされようとしているか伺います。

1回目を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

吉川議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、県、関係団体と森林整備の進め方や森林環境譲与税の活用について定期的に協議を行っております。

2点目につきましては、23年度に策定した公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針に沿って地場産材の利用に取り組んでおり、変更はありません。

3点目につきましては、現状では地域経済の好循環は困難と考えておりますが、県や関係団体との連携を図り、課題解決に向けて対応してまいります。

2番目につきましては、個別計画は公共施設のマネジメントの取り組みを進めるため、分類ごとに方向性を示す計画であり、31年2月に全24分類のうち、林道と舗装を除く22分類の計画を策定いたしました。現在、施設の状況を見える化するため、施設カルテを作成中であり、ホームページに掲載するなど、市民周知の手段として活用してまいります。市民との対話につきましては、廃止や統廃合など施設の再配置が必要となる場合は、市民説明が必要であると考えております。

3番目につきましては、市内就職を促進するため、教育懇談会や雇用促進協議会でご意見をお聞きし、糸魚川企業ガイドの作成や企業説明会の開催、企業見学バスの運行などにより、必要な情報を発信いたしております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

ありがとうございました。若干詳細をこれからお聞きいたします。

森林経営管理法が施行・成立されておりますが、この中で住民に関係することが二、三出てまい

りますので、若干お聞きしたいと思います。

まず、林業振興の中で、先ほども言いましたように、役割の中に意欲と能力のある林業経営者とは、経営者というのは市内にどれぐらいあるか、教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

現時点で1社であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

市内で1社とお聞きしたんですが、その1社は公表できますか。できれば公表していただきたいと思いますが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

ぬながわ森林組合さんでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

1社とお聞きしたんですが、これが法制化しますと1社では手が回るかどうかちゅうのは、処理していただけるかどうかちゅうのは大変疑問であります。今後こういう企業は指導してふやすちゅうか、ふえる可能性はございますかどうか、確認いたしますが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

ふやしていく必要があるというふうに考えております。そのための支援制度等をまた整備してまいり、また、関係事業者と協議をしてまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

ぜひふやしていただいて、先ほども言いましたように糸魚川市は9割は林業が関係するわけござ

いますんで、ふやしていただいて、森林整備に努めていただきたいと、こう思っております。

やはり当市の課題っちゃ大変なことなんですが、森林制度は、この課題については12月議会でも答弁等がありました。この課題、具体的に、もう一度確認いたします。課題、当市の重点課題をやっとするのは、主に何でしょうか、お答え。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

森林整備を進めていく上では、今ほど出ました担い手不足、また主になる所有者、また境界の把握、地場産材の普及の、また地場産材の活用等の問題と考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

ぜひこの課題をもっと整理して、急ぐところは急いでいただいてやらないと、どんどんどんどんおくれぎみになってしまうと思うんですが、非常に林業が正直おくれております。ぜひ早急に進めていただきたいことを要望しておきます。

それから、先ほども触れてあるんですが、環境譲与税が今度、税が還付されてくるわけですが、その前に個人個人に森林環境税というものが、個人に6年ですか、そのときになるときに1人1,000円、先ほど滝川議員もおっしゃいましたが、この1,000円ちゅうのは、非常に大変でないかなと私も思うんですが、これをどう分析されておるか、お答えをお願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

現在、均等割の世帯が6,000万人の方がいらっしゃるということでありまして。その中でお一人納税義務者1,000円をいただくと600億円になるということでありまして。この金額につきまして、現在の国として森林整備、森林経営管理法の事業を推進するに必要だし、今足りているということで、定められたものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

補足させていただきますが、この森林環境譲与税につきましては、やはり森林の多い全国の市町村の要望の中でこれが成り立ったわけでございます。でありますから、我々、森林の多くある市町村については、これをどのように生かしていくかということが、やはり当市、また市町村の課題になってくるわけでありまして、しかし、これは国民ひとしく、やはり森林のもたらす効果は共有すべきだという形で成り立っているわけでございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

大変、法制化されていいことなのですが、やはり住民1人、個人住民税からいただくことですから、出すほうにしちゃ大変なところもあるなと私は思っております。

ただ、糸魚川市に入る譲与税1,500万ですかね、1,500万は先ほどちらっと聞いたんですが、具体的に何と何と何にちゅう、もう一度お願いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

具体的には、令和元年度予算の中では、主には3項目ということで予算計上してございます。

1点目は、森林経営管理制度の推進としまして意向調査等の委託料、2点目は、担い手育成事業としまして事業者研修費などの補助事業費、もう一点は、地場産材の利用ということで、こちらのほうも補助事業のメニューを用意して使っております。その他の部分につきましては、今後、基金の設置等も考えておりますので、そちらのほうも活用しながらというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

計画的に進められていくのはわかるんですが、だんだん整備されていくということですが、果たして、この金を糸魚川市に当てはめると、例にすると山が整備されてくるということが見えるようになるというところは何年ぐらいかかるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

特に試算したことはございませんが、今年度の予算でありますと40ヘクタールをモデル事業として計画しているというところでございます。今後、そのモデル事業の課題をクリアする中で施業する面積をふやしていくということによっては、何年になるか、今お答えできることではありませんけれども、スピード感を持って取り組んでいけるものというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

先ほど言いましたように、ぜひなかなか山が多いですから、そう簡単には見えるようにならないと思いますが、先ほど言いましたようにスピード感かけて、ひとつ進めて、お願いしたいと思いま

す。

この管理制度の中に進め方の中で、所有者が市へ委託する、市に全てあずかるという言葉が出てきます。そうすると、市があずかって管理するちゅうことになれば、本当に管理ができるのでしょうか。これをお答え願いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

おあずかりしたのにつきましたは、しっかり管理をしていくということであります。

ただ、その管理をする森林につきましたは、優先順位を持って取り組んでいくということと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

ということは、今までやってきた林野と今後このシステムを使えば、具体的に所有者にどのように変わるんですか。メリットとかデメリット、具体的に言えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

本制度につきましたは、さまざまな課題ありまして、木材需要の低迷、価格の低迷とかありまして、高齢化等の課題から、いわゆる森林所有者の管理ができなくなってきたということを改善するための制度であります。したがいまして、私どもが行政として全て管理するということでもありますので、大きなくくりでは、やはりメリットのみであるかなというふうに思っております。

ただ、今回の経営管理法の中では、森林所有者の森林管理に対する義務づけも定められております。そういった点も含めて、しっかりと森林所有者の方々にはお伝えし、管理できるものはしっかりと管理していただくということが必要かと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

ぜひ新しい制度ですから、なかなか軌道に乗るまでには時間がかかろうかと思いますが、計画的にひとつ進めていただきたいと思います。

それで今、1点、人工林が非常に、杉も比較的多い、人工林が多いわけですね。この伐期を迎えているということですが、この伐期を迎えたものを利用する計画、これは今後、森林組合等と話し合いになるかと思いますが、そういう計画等はございますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

国・県・市で地域森林整備計画というものが定められております。いわゆる樹木、樹種によってゾーニングをして、それぞれの機能を果たすということで定められたものであります。現在は、そちらのほうに基づきまして施業をしているところではありますが、現時点では、今後のこともありませんけれども、それに準じる、また、さきに意向調査を行うこととしておりますけれども、森林経営ができないという方々を先に一緒に経営関係を結ぶ中で、施業を進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

今、お聞きしとるとなかなか制度等をどうやっていけばいいかっちゃ非常に難しいと思うんですが、正直、私もどのようにお願いすればいいか、正直わからないところもあるんですが、しっかりした計画をつくっていただいて、森林整備を行っていただきたいと思います。

ここでお願いなんですけど、私は何度も議会でお願ひした森林を整備することによって、海の問題も出てくるわけです。これをやっぱり早急に進めていただいて、海の整備も、やっぱり大きな関連が出てまいります。ぜひそれも1つ加えながら、ご検討いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

全て行政がやれるものではございません。森林は、やはり各所有者がおられるわけですので、所有者の意向が一番大切であるわけですのでございまして、そして森林環境譲与税やいろいろな制度については、それを支援する制度でございまして、市が率先していろいろやれるという環境は、なかなか難しいところにあります。

そのようなことで、今、価格の低迷だとかそういったものが大きく課題になっておるわけでありまして。そういう中で、今新たな制度の中でどこまでやれるかというのは、まだまだこれからの状況でございまして、全て市で計画を立ててやれるものではございません。当然、所有者、また今おっしゃっておられる森林組合とか、間に入っているいろいろと対応していかなくてはいけないという状況であると捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

市が全部お願いするというのを私は申しとるわけじゃないわけです。やはり山から流れるものが関連するから、今このお話をしとるわけですが、事の順序ちゅうのは当然あるわけですから、それは当然と思っております。ひとつそれに合わせて、この制度を地域として、森林所有者がこれからのように応援できるのかどうか、これらの関係する会が、打ち合わせ等はあるのかどうか、説明等があるのかどうか、お聞きいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

猪又農林水産課長。〔農林水産課長 猪又悦朗君登壇〕

○農林水産課長（猪又悦朗君）

制度の趣旨につきましては、現在、広報等でお知らせする予定にしております。また、必要に応じて森林施業、地域に入るときには、その地域に入りまして、しっかりと説明し、アンケートをいただくときもしっかりとその趣旨を理解していただいて、アンケートをお答えいただくというようなことで努めていきたいということをお願いしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

よろしくをお願いします。

じゃあ次へ進めさせていただきます。

2番目の自主財源の確保と有効な財政運営につきまして、先ほど市長から答弁いただいたので、私は細かいところまで触れませんが、大変厳しい財政になるなということは、もう察してわかるわけですが、ぜひ計画をしていただいて、長期財政見通しを十分ご検討いただいて、進めていただきたいと思います。私、細かいことは、今先ほど滝川議員が申し述べていただいたので、それ以上のことは私も言いませんので、よろしくお聞きいたします。

3番目に入ります。

地元の子供が地元企業に就職できる環境づくりについてということをお聞きしたいと思いません。

数字が非常に物語っておるんですが、糸魚川市の有効求人倍率が1.99と、毎年のように数値が上がるとし、労働者がいない、いないと聞いたりして、数字が先になっておるんですが、これの分析ちゅうか、この経過っちゃあ、どう分析されておるか、お答え、ここ二、三年の経過を教えてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

最新の数字ですと4月現在の有効求人倍率は1.77倍でございます。対前年と比較しますと、ずっと増加しておる数字でございます。内容を見ますと、特に建築土木技術者等が1.7倍、これこの4月現在でございます。それと機械の整備・修理の関係が2.3倍ということで、倍率が高

くなっております。逆に、一般事務員につきましては0.43倍ということで、1を割ってる状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

数字的にいうと、大変厳しいなど、こうお伺いしております。各企業さんも求人には苦勞されてるということをお聞きはしております。

そこで、もう一つ数字なんですけど、出生数、これもいろんな事情があろうかと思いますが、出生数もだんだん人口に原因しとるんですが、この数字がどんどんと厳しい出生になっております。これの分析ちゅうのは、何かございますか。どうしてって言や、そら個人的な問題あるんであれなんですけど、行政としてどうやっていけば、これは可能性があるんじゃないかなということをお聞きしたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

お答えいたします。

出生数につきましては、ご存じのとおり年々減少しております、昨年は200人程度というふうになっております。非常にその数を上げていくということは、非常に困難なことかもしれませんが、子育て環境の充実ですとか、庁内連携して取り組む必要があるというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

渡辺企画定住課長。〔企画定住課長 渡辺孝志君登壇〕

○企画定住課長（渡辺孝志君）

少子化の環境的なところになるんですけども、やっぱり糸魚川市の人口の構造だと思うんですね。やっぱり20から40代の女性の数が少ない、出生率って、特殊出生率というのは率ですので、日本国中、全て2.07という置換率になるんですけど、そういったところに上がっていけば別なんですけど、やっぱり1つの自治体のモデルというところを見てみますと、人口の構造、若い女性の数をいっぱいふやさないとなかなか難しい、そういった環境を整えていくというのが大事かなというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野教育次長。〔教育次長 磯野 茂君登壇〕

○教育次長（磯野 茂君）

もう1点補足して説明いたします。

何よりもやはり婚姻件数が減少を続けている。これはひいては若者の流出も原因するのではないかと思います、平成20年に200件ほどあった婚姻数が、29年で130件ということで、こ

れが子供が出生しない、出生数が少ない要因の1つではないかというふうに分析しているところがあります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

婚姻数が少ないと。これは一般的に言われとることですが、やはり環境でないかなと私は思っております。環境を上げるためにはどうするかと。これは1人、2人じゃ、実現できるものでない。これはもうみんなで取り組んでいかなければならないんじゃないかなと思っております。

糸魚川には、先ほど言いました地元就職の向上、促進するためには、各企業さん並びに組合さん等が努力されておることも承知しております。

それで、促進協議会というのは、どんな取り組みを具体的にされておるんでしょうか。わかる範囲で教えてください。雇用促進協議会。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

雇用促進協議会につきましては、市内の主要な企業の方が参画されておりまして、糸魚川企業ガイドブックということで、自分たちの企業を紹介する冊子ですとか、近年は、ウェブサイト、スマホで見れるようなもので、動画も見れるようになっておりますけど、そういうものを行ったり、企業説明会、就活フェアにご参加いただいたり、企業見学バスで受け入れていただいたりということで、自分たちの企業について、市民や子供たちに見えるように、見える化をする取り組みは、近年行われております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

ぜひ見える化で、ひとつやっていただきたいと思います。一般の人たちがどうも見えにくいちゃうか、わかりにくいと、こういうのもお聞きしとります。ぜひお願いいたします。

それから、先ほども言いましたように、子供がふえない、子供が出ていくということは、先ほど言いましたように環境の問題ですが、まず高校を卒業後、大学、専門学校、育児教育・保育を学ぶ子供たちが多いかと思われまます。これはそのとおりなんですけど、地元に戻り、地元の子供たちの育児教育や育児を目指したい子供がいるのも事実でありますけど、公立の幼稚園や保育園で働く職員の環境は、正職より、臨時職員が多いのが実態であります。幼稚園・保育園の民営化が検討されておりますけど、なかなか具体的な動きが見えておりません。民間での正職員採用に結びつけば、地元雇用の道も開けるんじゃないかなと考えますが、民営化による地元雇用の促進をどのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

民営化につきましては、今現在、所管の担当課で方針といいますか、それを検討中でございます。ご質問の民営化による地元雇用のというところではありますが、今現在は、臨時職員の方が民営化することによって、民間保育園の正職員になるという、継続雇用というようなメリットもあるというふうに思っておりますが、来年度から会計年度職員というような制度もございますので、その辺は十分検討していきたいというふうに思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

吉川議員。

○4番（吉川慶一君）

ぜひこれ一例でございますが、ぜひご検討いただいて、課題が多くあろうかと思えます。ぜひ検討していただいて、雇用に結びつく、また地元へ帰ってきていただけるような環境づくりに努めていただきたいと思えますので、よろしく願いいたします。

以上で、質問を終わりたいと思えますので、ありがとうございました。

○議長（中村 実君）

吉川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

関連質問なしと認めます。

14時50分まで、暫時休憩といたします。

〈午後2時37分 休憩〉

〈午後2時50分 開議〉

○議長（中村 実君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、山本 剛議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（中村 実君）

山本議員。〔3番 山本 剛君登壇〕

○3番（山本 剛君）

清政クラブの山本です。

1回目の質問をさせていただきます。

市内企業の人員確保について。